



加古だより

加古小学校通信
令和6年1月号
No.40 (356号)

「チーム担任制」学校行事や出張に柔軟に対応！

～取組の成果⑤～

校長 吉田 博明

<修学旅行に担任の先生が2人も！>

本校のような小規模校だと、修学旅行の引率は、学級担任、校長、養護教諭、専科教師の4人で行くことが多くなります。他の学級の担任は、なかなか自分の学級を留守にして、出張に行くことが難しいからです。しかし、チーム担任制だと、担任の先生が2人も行くことができます。時間割変更さえしておけば、その間はサポートの先生が代わりに学級担任をしてくれるからです。

<学級担任が2人いることは、児童にとっても教師にとっても安心！>

担任教師であろうと専科教師であろうと、教師に変わりはないのですが、授業だけでなく、学級担任として普段の生活面を知ってくれている学級担任が2人いてくれるというのは、児童にとってとても心強いのではないかと思います。また、教師にとっても、普段密に情報共有している同じ担任という立場の教師がいてくれるのは、同じ頼みごとをすることも、児童のことを深く理解してきちんと対応してくれるという安心感があると思います。修学旅行などの校外活動では、臨機応変な対応が必要になります。その点、児童のことを深く理解している教師が多いほど、安心して活動に取り組むことができます。

<専門的な教材研究で楽しい授業に！>

今までの学級担任制なら、担任がすべての授業を1人で教えなければいけませんでしたが、でもチーム担任制では、教科担任制にすることで教師の得意な教科や専門の教科を教えることができます。教師が得意な教科ということは、その教科のいろんなことを良く知っているということ。授業を実際に見学すると、とても面白く楽しく教えてくれています。

右の図は今年度の6年生に実施された全国学力・学習状況調査の児童質問紙の結果です。その中に「国語の勉強は好きですか」という質問があります。全国や兵庫県の「当てはまる」と答えた割合は約23%。それに対して、加古小学校で「当てはまる」と答えた人の割合は50%以上でした。授業を工夫し、みんなが興味を持って学べるように、系統立てた深い授業研究をしてくれているからだと思います。どの先生も、タブレット端末を上手に使いこなしながら、みんなが賢くなれる授業をしてくれています。

教師の業務負担の減少

3. 学校行事や出張に柔軟に対応

- ・修学旅行などの引率
- ・大きな行事担当に配慮
- ・出張、年休の取りやすさ

(自習案作成負担の軽減)

教師の業務負担の減少

4. 深く系統立てた、専門的な教材研究

質問	回答	割合
国語の勉強は好きですか	当てはまる	50%以上
	当てはまらない	約23%